

富津市立保育所自己評価書

(竹岡保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和4年4月～令和5年2月

令和5年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	<p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p>	A	<p>家庭との連携を密に行い、感染症流行時は早急に保護者へ周知し、協力を求め感染拡大防止に努めた。また、園内で「様々な感染症の拡大予防」や「ヒヤリハット事故防止」などの認識を深めたり、安全点検を行ったり、安全な保育環境が維持できるようにしている。嘱託医と連携を深めるために、園児の多くがかかりつけとなっている医院を希望している。</p>
	<p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p>	A	<p>小規模保育所ならではの良さを活かし、どの職員も一人ひとりとゆったり関わり、安心して日々過ごせるようにしている。</p>
	<p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p>	A	<p>子どもの思いを大切にしながら興味を広げるようにしてきた。様々な経験を積み、職員と一緒に楽しさを共有している。</p>
人間関係	<p>子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。</p>	A	<p>クラス関係なく、一人ひとりとの関わりを十分に持つことができた。子どもの気持ちを受け止め、励ましたり見守ったり、安心感を大事にしている。</p>
	<p>生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。</p>	A	<p>一番身近なおうちの人の仕事に関心を示し、大変さも知ることができた。また、市長や消防署員の存在を知り、感謝の気持ちを手紙で表現することができた。手紙を書くことがブームとなり、お手紙交換から郵便屋さんごっこへと発展して楽しんでいる。</p>

	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	B	個人差はあるが、その時々で保育士等が気持ちに共感したり、代弁したりして気づきにつなげている。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	子ども達で話し合う機会を持ち、決まりの大切さに気付いたり、なぜ守らなくてはいけないのか考えたりできるようにしている。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	下見等行った上で、恵まれた自然環境を活かした活動ができている。特に磯遊びは機会を逃さず楽しんでおり、その時期ならではの活動となっている。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	B	自然物を使った遊びでは、形や大きさ、量など、物の性質に気付く場面が多いので、子どもの発見やつぶやきを大切にしている。また、その発見やつぶやきを記録し、職員で共有できるようにしている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	海が近いという環境から、潮の満ち引きや富士山の雄大さなどに気付くことができている。また、保育所の前に見える山の木々の色の移り変わりや、畑の野菜の生長をこまめに見ることもできる環境である。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	B	年齢に応じて無理なく関心が持てるようにしている。年長児は手紙を書いたり、オリジナルかるたを作成したり、楽しみながら文字に親しんでいる。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	どの職員も子どもとの丁寧な関わり、肯定的な言葉がけを意識している。自分から発信することが苦手な子には、保育士が代弁したり、2択にしたり、その子が安心できる方法を一緒に考えている。

	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	季節や子どもの興味に合った絵本や紙芝居に親しむ機会を多く持っている。また、10月から年長児のみ、移動図書を利用し、より多くの絵本に親しめるようにしている。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	B	場面に応じて、以上児は話し合う機会を多く持つようにしている。また、職員も一人ひとりとじっくり話せる時間を大切にしている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	職員が手本を示しながら、場面に応じた挨拶や友達との関わりの中で必要な言葉の使い方を知らせている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	粘土や廃材を用いて、自分達の遊びたいものを作ったり、どろんこ遊びや氷作りなどを通して、様々な素材に触れたりしている。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	例年に比べ、リズムに親しむ機会は少なくなりましたが、様々な体操を楽しむことはできた。また、わらべうたを全園児で楽しんでいる。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	B	畑で収穫した野菜の形や手触り、食べるときの音など、年齢に応じた気づきを子ども達が自分なりの言葉で表現している。また、色水の変化や雲の形、緊急車両や工事車両の音など、子ども達の発見や気づきに共感し、活動をふくらめていけるよう働きかけている。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	自分の気づきを自由に職員室や他クラスへ伝え、感動を共有することができている。

保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	保育参加時に個別の面談を行った。また、2月に座談会を企画し、保護者同士の交流の場を作った。いつでも相談にのることができることを職員室だよりでも知らせている。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	個々の記録に、必要に応じて記載し、情報が引き継げるようにしている。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	職員は、保護者が相談しやすい雰囲気作りを心がけている。運動会と発表会後にはアンケートを実施し、保護者の意見を聞けるようにした。また、相談や意見は共通理解を図り、改善点については早急に対応している。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	それぞれの行事を何のために行うのか、職員間で共通理解を持って実施している。また、行事の企画を子ども達と行い、楽しめるようにしている。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	全てを取り入れることは難しいが、アンケートを実施したり、保護者の声を聞いたりして、願いや意見を知るようにしている。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	行事ごとに企画書を作成し、また実施後には反省を行っている。次年度の課題も見据え、次に活かせるようにしている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っている。	A	個人情報に関するものは、管理場所を決め、適切に管理している。また、職員は守秘義務を遵守している。
	園内研修を実施している。	B	危険予知や安全な水遊び等の園内研修を行ってきた。また、職員会議時に保育について話す時間を設けたり、研修に参加した職

		員からの報告を受けたり、職員同士での意見交換を行っている。
掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	出来るだけタイムリーにドキュメンテーションを作成し、保護者へ保育の様子や活動内容を伝えるようにしている。また、感染症情報も随時知らせている。